

令和元年度 調布市防災教育の日 実施結果報告書(概要版)

令和元年8月
教育部教育総務課

1 取組結果

- (1) 実施日 平成31年4月27日(土) 午前8時30分から午後3時頃まで
- (2) 実施場所 公立全小・中学校(28校), 大町スポーツ施設
- (3) 当日のタイムスケジュール(※詳細は各学校で異なります。)

時間	学校時程(例)	市職員・地域の流れ(例)
8:30	通常授業	市職員集合
	「命」の授業(公開)	通信訓練, 校内の防災設備・防災備蓄倉庫確認
10:00		地域住民等集合(任意)
	保護者・地域向け防災啓発講話(公開)	防災備蓄倉庫点検, マンホールトイレ・組立トイレ(1基設置)
11:10頃		マンホールトイレ・組立トイレを保護者等が見学
11:24	発災想定避難訓練講評(校長・消防署員) 発災時のワンポイントアドバイス(消防署員) 引き渡し訓練	通信訓練 マンホールトイレ・組立トイレを, 保護者等が見学
12:00	休憩・昼食	
13:00		全校統一メニュー訓練「避難所におけるトイレの確保・管理」を継続 →市職員が主導し, 学校教職員・生徒・地域等が設置 ・座学・意見交換 ・マンホールトイレ・組立トイレの両方又はいずれか設置
15:00	片付け, 終了	

(4) 参加者数(人)

参加者区分	令和元年度	平成30年度	対前年度比
学校(教職員, 児童・生徒)	15,947	15,921	26
保護者	13,836	13,616	220
地域	660	957	▲297
市職員(避難所担当職員・初動要員等)	313	311	2
消防・警察職員	114	128	▲14
合計	30,870	30,933	▲63

実施校	令和元年度	平成30年度	対前年度比
東京都立調布北高等学校	715	-	715
東京都立調布南高等学校	736	798	▲62
東京都立神代高等学校	56	52	4
明治大学付属明治高等学校・中学校	1,363	-	1,363
晃華学園中学校高等学校	932	923	9
桐朋女子中学校・高等学校	1,043	-	1,043
計	4,845	1,773	3,072

※上記の都立高校及び私立学校の参加者数は, 左表の人数に含んでいません。

【報告書】参照

- ◆各学校における「命」の授業, 啓発講話 P62~89
- ◆各学校における実施内容 P92~105

2 取組のポイント(連携・協働の取組)

(1) 調布消防署との連携

- ・市立全小・中学校での避難訓練の視察・講評や, 各校の防災啓発講話を実施
- ・【新規】避難訓練の講評時には, 保護者を対象とした発災時の行動等に関する留意点(ワンポイント・アドバイス)を実施
- ・昨年度に引き続き, 児童・生徒参加型の主体的な防災訓練等(第三小, 滝坂小, 上ノ原小, 深大寺小, 第三中)を実施
- ・起震車を2校(滝坂小, 第二小)に派遣

(2) 調布警察署との連携

- ・防災啓発講話の講師を派遣(第一小)

(3) 地域との協働(避難所運営訓練における「統一メニュー」の継続等)

- ・地区協議会等の住民と市職員, 学校教職員が, 備蓄倉庫内の備蓄品の確認や, マンホールトイレ・組立トイレの設置訓練等を実施
- ・設置したトイレを, 保護者等にも見学いただき, より多くの方が災害時のトイレを知る機会を提供
- ・市職員向け事前説明会に地区協議会の方の出席を依頼し, 防災教育の日に参加する市職員(初動要員・避難所担当職員・管理職職員)との顔合わせ及び打合せを実施し, 情報共有を図った。
- ・市内全ての自治会長にチラシを送付し, 自治会への周知を継続

(4) NPO法人調布心身障害児・者親の会などの連携

- ・第一小学校において, NPO法人調布心身障害児・者親の会, 調布市障害者地域活動支援センター「ドルチェ」と連携し, 災害時要支援者も参加したうえで, 統一テーマである, 避難所運営訓練として組立トイレの設置・体験等を行い, 災害時避難行動要支援者の立場から御意見をいただく。

(5) 市内都立・私立学校との連携

- ・【新規】桐朋女子中学校・高等学校において, 避難訓練を実施
- ・晃華学園中学校高等学校, 明治大学付属明治高等学校・中学校において, 避難訓練を実施
- ・東京都立調布南, 調布北, 神代の各高等学校において, 避難訓練を実施
- ・調布南高等学校において, 布田小学校へボランティア生徒を派遣

3 出された意見の概要(課題)

- ・連休初日となる場合, 実施日の再検討を。
- ・雨天時のプログラムの検討を。
- ・訓練は, より多くの保護者や地域住民を巻き込むべき。
- ・帰宅後に行う, 午後の避難所運営訓練は参加しにくい。
- ・(避難所運営マニュアルに沿った)避難所開設訓練を行いたい。
- ・備蓄倉庫に貼られたリストと内容物が一致していないため, 倉庫の整理を行いたい。

◆消防署による防災体験(滝坂小)



(6) 市内企業との連携

- ・スターツCAM株式会社の協力により, 起震車及びスタッフを2校(杉森小, 第七中)に派遣

(7) 市長部局各部との連携

- ・初動要員, 避難所担当職員, 管理職職員, あわせて313人を各小・中学校等に派遣し, 訓練を実施
- ・防災備蓄倉庫の確認, 新設されたデジタル防災行政無線の活用した訓練を実施
- ・市職員が主導し, 地区協議会等の住民, 学校教職員とともに, 備蓄倉庫内の備蓄品の確認や, マンホールトイレ・組立トイレの設置訓練等を実施

◆全校統一メニュー「避難所におけるトイレの確保・管理」(調布中)



「保護者アンケート」「地区協議会アンケート」
「市職員からの報告」等から多く出された意見を抜粋

【報告書】参照 P50~58

- ・デジタル防災行政無線のさらなる訓練や周知が必要
- ・全校一斉に行うことによる, 消防署員・警察署員による応援体制に調整が必要
- ・避難所担当リーダーの役割が重い一方, やることを理解していない職員もあり, 当日の適切な役割分担が必要
- ・避難所担当リーダーや避難担当職員の決め方を検討して欲しい。

現在, 次年度の改善に向け, 地域, 関係機関, 庁内関係部署と協働・連携を図り, 検討を進めています。